



しずくちゃん

下水道公社だより

—下水道 きれいな水を 未来まで—



すいてきくん

2008年冬季号

目次

新年のご挨拶
『快適生活 下水道フォーラム 2007』を終えて
平成 19 年度下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験結果
行事のお知らせ
『市町村技術支援事業（設計等受託業務）』のご案内

新年のご挨拶



平成 20 年を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当公社は、下水道に関する知識の普及・啓発を図るとともに、福島県が設置する流域下

水道の適正な維持管理業務を行うことにより、県又は市町村が実施する下水道事業の振興を図ることを目的として、昭和 63 年 4 月に設立されました。

お陰様を持ちまして、平成 19 年度の事業につきましても、福島県から受託しております 4 センターの汚水処理施設及び県中浄化センター内の汚泥溶解施設の維持管理業務をはじめ、下水道事業に係る設計・積算等の受託事業等、順調に執行して参りました。

汚水処理水の水質も良好で、順調に運転管理を行っているところであり、また、普及啓発事業につきましても、「下水道まつり」、「快適生活下水道フォーラム」など、県、市町村をはじめとした関係機関の皆様の御支援を頂きまして、充実した事業執行ができたものと

財団法人 福島県下水道公社
理事長 秋元正國

考えております。

なお、公社の今後の運営等についてですが、福島県において、流域下水道の維持管理業務に係る委託のあり方について、「公社への委託」から「民間一括委託方式」に段階的に移行する決定がなされたところであります。

今後は、安全、安心な下水道維持管理のため「民間一括委託方式」において、当公社の業務となる委託の履行確認、水質検査や県の補完等の業務に万全を期して取り組むとともに、より適切・効率的な下水道管理のあり方を継続的に検討して参ります。

また、新たな公益事業に取り組むなどにより、県内市町村の下水道事業を積極的に支援し、県内の下水道事業の振興、並びに生活環境の改善と公共用水域の水質保全に貢献して参りたいと考えております。



『快適生活 下水道フォーラム 2007』を終えて

去る11月25日(日)に福島県・福島県下水道公社の主催、二本松市の共催により、二本松市安達文化ホールにて、「水環境と下水道」～清らかな流れをいつまでも～をテーマに『快適生活 下水道フォーラム 2007』を開催いたしました。

挨拶の後、テレビやラジオで活躍され、現在は国立大学法人東京海洋大学客員准教授として教鞭もとられる“さかなクン”氏による「水環境とさかなたち」と題しての記念講演



では、水環境問題と下水道の係わりについて、さかなのイラストを描きながら、さかなたちが

棲めるきれいな川といった水環境を守っていくことの大切さをお話いただきました。描いたイラストを会場内の子供達にプレゼントする場面もあり、会場内を沸かせました。好き嫌いが多かったために体が弱かった子供の頃のエピソードでは、好き嫌いをなくしたことで、体も丈夫になり、食べ残しが無くなって水を汚さないことにもつながったことを紹介していただきました。また、水を汚さない工夫として、食べ残したスープ等は、ちり紙で水分を取り除いて、流し台に直接流さないようにし『汚れを流さない工夫をしましょう!』と来場者の皆さんに呼びかけをしていただきました。

第二部では、学区内にある鏡が池の浄化活動を行っている「二本松



市立安達太良小学校」6年生の皆さんと市内を流れる鯉川で清掃等の地域活動を実践して

いる「根崎鯉川をまもる会」会長の今江忠治氏による活動体験発表を行っていただきました。「二本松市立安達太良小学校」の発表では、鏡が池における汚れの原因を調べていくうちに、生活排水によるものではなく、池自体に問題

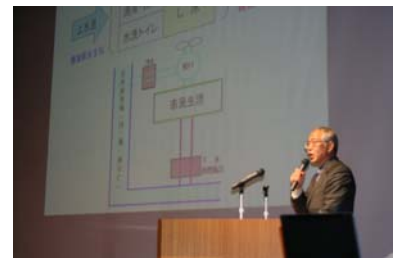


があるのではと考え、ごみ拾いや植物を利用した浄化活動を実践してみて、水環境を守り続けることの難しさと大切さを来場者の皆さんに伝えていただきました。また、「根崎鯉川をまもる会」の発表では、美化活動への地元



学生参加によってお互いの交流が深まり、鯉川での活動が地域の繋がりを生むきっかけとなったことと汚れた水を下水道に流さない工夫として生ごみの堆肥化等を紹介し、水環境を悪化させる原因を取り除く取り組みの重要性を述べていただきました。

そして、フォーラムの総括として国立福島工業高等専門学校名誉教授の橋本孝一氏より、家庭排水は下水道処理施設で処理され、きれいな水として、川や海に流れている例を挙げ、身近な生活の中での水循環と下水道の役割・重要性についてお話いただきました。



最後となりましたが、本フォーラム開催にあたり、ご支援・ご協力をいただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。

平成 19 年度下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験結果

本年度の「下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験」は、平成 19 年 11 月 20 日(火)に『ビッグパレットふくしま』において予定通り実施いたしました。

試験結果については平成 19 年 12 月 14 日(金)に合否結果を受験者へ送付するとともに、公社HPへ合格者受験番号を掲載しました。試験結果は以下の通りです。

受験者数：320名(356)

合格者数：174名(195)

合格率：54.4%(54.8) ※()内は H18 年度結果

合格された方には合格証と一緒に、「責任技術者登録申請書(新規)」を送付しております。責任技術者登録を希望される方は、登録期限(平成 20 年 1 月 31 日)までに手続きをお願い致します。

当公社では、今回結果を発表した資格認定試験を始め、登録更新講習会の開催、責任技術者の登録事務といった下水道排水設備工事責任技術者資格認定業務を県内市町村と協定を締結して実施しております。この資格は排水設備工事を行うために必要な資格として、市町村の条例及び規則等で定められております。そのため、責任技術者の専任登録届及び取消届、住所等の変更による記載事項変更届等の事務手続きは協定市町村を経由して行われます。



行事のお知らせ

【平成 19 年度維持管理研修会】

下水道の維持管理について、専門的な知識、技術を深めることを目的として、県及び各市町村下水道担当者を対象に福島県土木部下水道グループとの共催により、下記のとおり研修会を開催致しますので、多数ご出席くださるようご案内申し上げます。

1. 日 時：平成 20 年 2 月 15 日(金) 13:00~16:00
2. 研修会場：郡山市安積学習センター集会室(旧サンフレッシュ郡山)
郡山市安積町荒井字南赤坂 265 番地

なお、詳細については別途各市町村下水道担当課宛に開催通知を送付いたします。

【平成 19 年度下水道排水設備工事責任技術者登録更新講習会】

平成 19 年度の更新講習会を下記により開催致します。(財)福島県下水道公社認定による下水道排水設備工事責任技術者については、登録の有効期間が5年間であるため、登録期間満了後も引き続き登録を受けるときは、技能・技術の維持及び最新技術の習得等を目的とする更新講習を受講し、登録の更新を受けなければなりません。

年 月 日	対象方部	場 所
平成 20 年 2 月 13 日(水)	浜通り	富岡町・富岡町文化交流センター
平成 20 年 2 月 19 日(火)	会 津	会津若松市・ピカリンホール
平成 20 年 2 月 25 日(月)	中通り	郡山市・ビッグパレットふくしま

『市町村技術支援事業（設計等受託業務）』のご案内

平成 18 年度末現在の全国の下水道処理人口普及率は平均で 70.5%であるのに対し、福島県は平均で 44.1%と全国平均を大きく下回り、全国では 37 位にランクされる低い普及率です。

福島県の下水道普及が遅れた原因としては、他県に比べ下水道の歴史が比較的浅いこと、広い県土面積を有し集落が散在していること等によるものが原因と考えられています。しかし、我々県民の貴重な財産である自然豊かな県土を守り、快適な生活環境を築くためには、下水道の普及促進が避けて通れない重要な課題となっています。

市町村が下水道施設を整備しようとする場合、担当職員の確保が問題となります。処理場、ポンプ場、管路施設を建設するためには、土木、建築、機械、電気等の一定の専門技術を有する職員の配置が必要となりますが（下水道法第 22 条）、その様な職員の確保はなかなか大変なのが実情のようです。

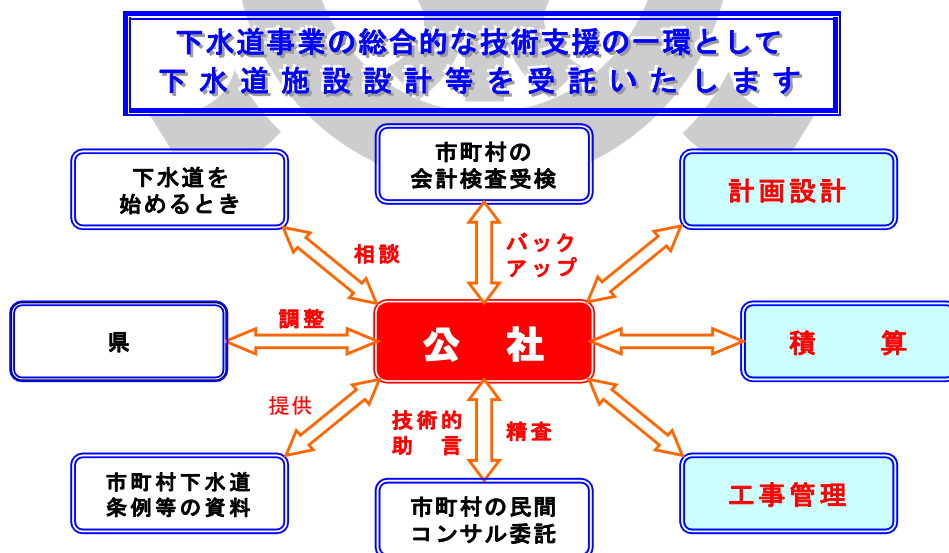
下水道公社では、執行体制が不十分な自治体を技術的な側面から支援するため、下記の計画段階から工事管理に至る総合的な技術支援事業を実施し、市町村の皆様をサポートいたします。

計画設計：関係機関との協議や他計画との整合を図り、円滑な計画設計を実施します。

設計積算：常に最新の積算資料や国県等の各種基準に準拠した適切な設計積算を実施します。

工事管理：各種仕様書等に基づき、工事の出来形、品質、工程管理等の他、変更設計も実施します。

この他、下水道公社では市町村技術支援事業の一環として「**下水道事業相談室**」を開設しておりますので是非ご利用ください。



財団法人 福島県下水道公社

〒960-8103 福島市舟場町 2 番 1 号 福島県庁舟場町分館 3 F

TEL 024-524-3510(代)

FAX 024-524-3513

Homepage: <http://www.fspc.or.jp>

E-mail: kikakukanri01@fspc.or.jp

※本誌の発行については、業務部企画管理課までお問い合わせください。